

巻頭言

全国中学校スキー大会を終えて

岩手県中学校体育連盟 会長 工藤 保



平成21年度第47回全国中学校スキー大会は、“燃える闘志 輝く笑顔 白銀の八幡平で風になれ”の大会スローガンのもと、42都道府県450校900余名の中学生アスリートを迎え、2月3日から6日までの4日間、八幡平市の安比高原スキー場、田山クロスカントリコース、矢神飛躍台の3会場で盛大に開催されました。

日中でも氷点下10度前後の厳しい冷え込みが続く中、全国から訪れた選手の皆さんの若さと活気に溢れた滑走や飛躍は、多くの人々に爽やかで深い感銘を与えるものとなり、数々の輝かしい成果を残しながら、大会を成功裏に終了することができました。

また、岩手の未来を担う中学生も主役となり活躍しました。選手として6種目において入賞したことはもとより、八幡平市内の中学生は生徒役員としてそれぞれの分野で積極的な活動を展開しました。大会を支えたそのエネルギーは、中学生の限りない可能性を感じさせるものでありました。

大会に参加された選手の皆さんは、憧れの舞台で日頃鍛えた力と技を十分に発揮され、また、岩手の温かい人情や豊かな自然・文化に接し、生涯忘れ得ぬ思い出を作られたことと思います。フィナーレを迎えた閉会式では、選手団と地元中学生らの「ありがとう」の声が会場に響きわたり、それぞれの思い出を胸に刻み会場を後にした姿はとても感慨深いものでした。

終りに、大会の開催に当たり、御指導、御支援を賜りました八幡平市、岩手県教育委員会、(財)岩手県スキー連盟、陸上自衛隊岩手駐屯地をはじめとした関係者の皆様に、そして生徒役員として大会を支えてくれた中学生諸君に心より感謝と御礼を申し上げます。

